

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
http://www.n-mokuzai.com/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,000円
©日刊木材新聞社 2013
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

木になる情報 発信中
木材建材ウィワワ
Japan Lumber Reports

中部フローリング(株)

無垢・挽板

URL: e-flooring.co.jp

本社	052-503-1626
東京	03-5634-8873
大阪	06-6748-9650
秋田	0186-44-4355
仙台	022-307-3348
金沢	076-269-3435
福岡	092-408-7752

主な記事

- ▽2面 インタビュー 山田社長 石川寛猛氏
- ▽3面 東北商況 衝動が再び活発化
- ▽4、5面 国産材製品全国商況 需要台頭の兆し
- ▽6面 会社探訪 東京池田木材(千葉) 日本の
- ▽7面 神工舎がバイオ乾燥機導入 乾燥コスト大幅に軽減

民間企業団体による

国産材マークを創設

日本プロジェクト産業協議会(JAPIC、三村明夫会長) 森林再生事業化委員会(米田雅子委員長)は8日、国産材マーク(商標登録済み)を創設したことを発表(7月27日付既報)した。同日には、国産材マーク推進会の発足会も東京都内で開催され、約70人が参加した。

今後、B会員50社見込む

同推進会は、林業や木材、木質建材など関連団体による使用許諾マーク普及部会(B会員)と住宅部会(A会員)とを構成されている。8日時点では、事前登録も含めてA会員10団体、B会員22社で、今後はB会員50社程度を見込んでいる。同マークの使用は、JAPICと業務委託契約を締結した団体や国産材を使うこと

JAPICが発表

日本の森林を元気にすることを目的としている。また、環境意識の高い最終需要家に商品印象付けられることが最大の特長だ。表示は、マーク使用企業(許諾を受けた企業)が対象製品を出荷する段階で行うのが原則。ただ、マーク使用

者の責任でプレカットや住宅建設等の段階でも可能で、マークが消費された時にはマーク使用者の責任で再表示もできる。マーク使用料は基本的に無料で、最初のみ事務手数料1万円と不正対策協力費1万円が必要になる。具体的な表示は、マークの下に企業名と国産材の使用比率(100%、90%以上、80%以上、70%以上、60%以上、50%以上、50%以上)などを記載。表示方法や大きな



米田雅子 委員長

国産材マークを説明する米田委員長

集成杉・桧・唐松

各県産材ご用命下さい

TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

さは問わず、シャチハタ、インクジェット、シル、印刷等で、対象品目は丸太や製材、まっただ団体で、国からの公的な支援は受けずに日本の森林が元気になる入り口を作りたいという気持ちで、国産材マークを創設した。同マークを、良いものを選ぶためのツールにしてほしい。そして、このツールを様々な企業が関心を持って国産材を使うために、広めてほしい」と話した。

※8日時点のA会員11団体、B会員22社、日本木材工業協会、日本木材防虫工業組合、日本合板工業組合連合会、日本フローリング工業会、全国LVL協会、日本集成材工業協同組合、大分県木材協同組合連合会、全国木造住宅機械プレカット協会、全国森林組合連合会、日本繊維板工業会。